

「ともに未来を創る」拠点校※ 交流報告会

GREEN×EXPO 2027の「テーマ」を連携・協働で実現

「幸せを創る明日の風景」

は私たちが創る



日時 2026年1月24日（土）9：30～16：45

会場 JICA横浜 体育館 神奈川県横浜市中区新港2-3-1

- ▶第1部 児童生徒の部 9：30～12：00（受付開始9：05～）
ポスターセッション：横浜市立「ともに未来を創る」拠点校、
よこはま子ども国際平和プログラムピースメッセンジャーの取組紹介
ワークショップ：児童生徒や教職員、保護者等のグループでの意見交換

- ▶第2部 教職員（教員研修）の部 13：30～16：45（受付開始13：10～）

インプット及び講評 東京都市大学教授 佐藤 真久氏、東洋大学教授 米原 あき氏

ワークショップ：第1部のワークショップの成果物を基に参会者で分析・意見交換等
グループ協議：「幸せを創る明日の風景（ロジックモデル）」を基にした協議等
振り返り・まとめ

※「ともに未来を創る」拠点校（旧 SDGs達成の担い手育成（ESD）推進校）

学校全体でESDに取り組むこと（ホールスクールアプローチ）を視野に、GREEN×EXPO 2027を活用しながら地域・企業・NPOなどとの連携・協働に重点を置いたカリキュラム・デザインを研究し、「ともに未来を創る」拠点として教育活動の推進を目指して、学校が申込み、横浜市教育委員会が採択した学校（小13・中3・高1）



○横浜市立学校の管理職及び教職員はPlantからお申し込みください。

研修コード 第1部：25si4234a 第2部：25si4234b

○横浜市立学校以外の方は、次のURLまたは、右の二次元コードからアクセスをお申ください。

<https://forms.gle/BJVwzNZiPoxu6ie7>

○申込み期限 2026年1月22日（木）

参加人数に上限があるため、期日前に申込を終了することもあります。

主催 横浜市教育委員会

お問合せ 学校経営支援課 045-671-3494

E-mail ky-esd@city.yokohama.lg.jp

「ともに未来を創る」拠点校 交流報告会（児童生徒の部）実施要項

1 目的

- ・今年度の学習活動のまとめとして発表を行って自分たちの活動を振り返ると共に、他校の活動や S D G s について多様な考え方を知ることを通して、これから学習活動や自分の行動について考えるきっかけにする。
- ・各校の教育活動を、連携・協働によって「ともに未来を創る」視点で振り返り、ESD の価値を再認識すると共に、意見交換を通して、テーマ「『幸せを創る明日の風景』（GREEN×EXP02027）は私たちが創る」の実現に向けた今後の活動について、表現したり、考え深めたりする。

2 テーマ

「幸せを創る明日の風景」（GREEN×EXP02027）は
私たちが創る

3 日時

令和8年1月24日（土）9：30～12：00

4 会場

JICA 横浜 体育館（地下1階）中区新港2-3-1



5 参加者

- ・「ともに未来を創る」拠点校児童生徒（各校10名程度）
- ・よこはま子ども国際平和プログラムピースメッセンジャー
- ・参加校の保護者等 ・横浜市立学校教職員 ・市外学校教職員 ・E S D関係者

6 時程及び内容

時刻	内容
9：05	受付開始 ポスターセッション準備
9：30	【開会】
9：40	【前半グループのポスターセッション】（6分×3回） ①各校前半グループのプレゼン（3分） ②プレゼンを聞いていた人と感想・質問交流（2分） ③ブース移動（1分）
9：57	【前半・後半グループ交代】
10：00	【後半グループのポスターセッション】（6分×3回） ①各校後半グループのプレゼン（3分） ②プレゼンを聞いていた人と感想・質問交流（2分） ③ブース移動（1分）

10：17	【全体交流】 ①児童生徒はポスターセッションの感想を発表 教職員や保護者等は二次元コードでアンケートに回答 ②アンケート結果の共有と感想発表
10：30	【休憩・WSグループ移動】
10：40	【「幸せを創る明日の風景」は私たちが創るワークショップ】 ①参加児童生徒の事前アンケート結果の共有
10：45	②児童生徒グループ、教職員グループ、保護者グループによる、「『幸せを創る明日の風景』は私たちが創る」について、自分の学校の取組と比較しての振り返り
11：05	③ワールドカフェ方式での各グループの情報共有
11：15	④テーマについての意見交換、提言のまとめ ※意見交換の具体的な方法については検討中
11：35	⑤グループ共有・感想交流 ※教職員や保護者等は二次元コードで感想をアンケートに回答
11：45	⑥まとめ
11：55	【クロージング】
12：00	全体解散

7 ワークショッピングワークシート（案）

「幸せを創る明日の風景」は私たちが創る ワークショップ					
「幸せを創る明日の風景」をともに考えるメンバー					
学校名					
氏名					
1. 自分の学校では、地域の人や企業の人、海外の人など、学校以外の人とのつながりで（一緒に）、課題を解決したりすることができますか。あればその具体例は。					
グループまとめ（今）→			そう思う	どちらともいえない	どちらともいえない
5. 4（提言）が実現できるように、自分はどんなことに、どのように取り組みたいですか。					
具体的な取り組み方について、詳しく記入してください。					
2. 学校以外の人と一緒に、課題の解決に取り組むことは、よいことだと思いますか。よいと思う場合、具体的にどんなことがよいと思いますか。					
グループまとめ（今）→			そう思う	どちらともいえない	どちらともいえない
5. 4（提言）が実現できるように、自分はどんなことに、どのように取り組みたいですか。					
具体的な取り組み方について、詳しく記入してください。					
3. 学習を通して見いただいた地域や社会の課題を自分たちで解決できると思いますか。どうしてそのように思っていますか。					
グループまとめ（今）→			そう思う	どちらともいえない	どちらともいえない
5. 4（提言）が実現できるように、自分はどんなことに、どのように取り組みたいですか。					
具体的な取り組み方について、詳しく記入してください。					
4. 「幸せを創る明日の風景」を創るために、来年3月（GREEN×EXPO開幕）には、一緒に取り組む相手（学校以外の人）どのようなつながり（関係）でありたいですか。					
5. 4（提言）が実現できるように、自分はどんなことに、どのように取り組みたいですか。					
具体的な取り組み方について、詳しく記入してください。					

8 備考

- ・当日午前6時時点で、学校が休校になる警報だけでなく、大雨警報、洪水警報が発表継続中の場合も中止とします。



担当

学校経営支援課

指導主事 岡本 五十嵐 石川

事務職員 宮川

電話 671-3494

E-mail:ky-esd@city.yokohama.lg.jp

「ともに未来を創る」拠点校 交流報告会（教職員の部）実施要項

1 目的

- ・児童生徒の部の成果物（「3月にありたい姿」と「そのためにしたいこと」）をこどもの意見表明として捉え、実行力のある私たちが、その実現に向けて意見交換する。
- ・「幸せを創る明日の風景」を目指して構築してきた「ロジック（モデル）」を基に、私たちが、どのような姿を目指して、どのような活動ができるかについて、協議する。
- ・参会者同士の意見交流を通して、各学校等におけるE S Dの充実につなげる。

2 テーマ

「幸せを創る明日の風景」（GREEN×EXPO2027）は私たちが創る

3 日時

令和8年1月24日（土）13：30～16：45（受付13：10～）

4 会場

JICA横浜 体育館（地下1階）
中区新港2-3-1（児童生徒の部に同じ）

5 参加者

「ともに未来を創る」拠点校教職員をはじめとする市立学校教職員、市外学校教職員、学校・地域コーディネーター、E S D推進関係者

6 内容

(1) ともに未来を創るワークショップ（60分）

「こどもの意見表明」に関するインプット（10分）

午前に開催した児童・生徒の部の成果物の分析・意見交換、全体共有等（50分）

(2) グループ協議（80分）

「ロジックモデル」に関するインプット（10分）

「幸せを創る明日の風景（ロジックモデル）」を基にしたグループ協議等（70分）

(3) 振り返り（30分）学識経験者による講評含む

7 備考

服務の取扱いは業務出張です。教職員は名札の着用をお願いします。



担当 学校経営支援課
指導主事 岡本 五十嵐 石川
事務職員 宮川
電話 045-671-3494
E-mail:ky-esd@city.yokohama.lg.jp